

平成29年度 第8回金谷区地域協議会

次 第

日時：平成29年10月25日(水)午後6時～
会場：福祉交流プラザ 第1会議室

1 開 会

2 議題等の確認

3 報告

(1) 自主的審議事項「金谷地区公民館について」(報告)

4 議題

(1) 地域活動支援事業募集要項及び審査・採択の基本的なルールについて

(2) 金谷区の地域課題について

5 事務連絡

6 閉 会

平成 29 年 9 月 26 日

上越市長 村山 秀幸 様

金谷区地域協議会

会長 高宮 宏一

金谷地区公民館について（意見書）

上越市地域自治区の設置に関する条例第 7 条第 1 項の規定に基づき、「金谷地区公民館について」に関して自主的に審議した結果、下記のとおり提出いたします。

記

金谷区地域協議会ではこれまで、地域の方との意見交換を行ってきました。その中で地域の方からは、かつて小学校同士のスキーによる交流があったように、金谷区内 3 小学校の交流会で地域の親子のつながりを持たせたい、地域活動の中で子どもを育て、その子どもが地域に恩返しできるようになったらよいという声があり、今後、地域における交流が進むように取り組んでいくことが求められています。

地域交流の核となる金谷地区公民館は、旧金谷村役場があった場所に建てられましたが、現在この場所は寺町 2 丁目になっています。その結果、隣接する高田区に設置された形になっており、金谷区内には現在公民館施設がありません。地域からは、子どもたちが活動できる場所がない、広い場所、施設、スペースを作ってほしいとの意見を聞いています。また施設面でも、駐車場が狭く利用可能な部屋数が少ないなど利便性が悪く、利用しにくい状態にあります。

このことから、地域において地域交流の取組を積極的に進めていくために、金谷地区公民館を山麓線沿線など金谷区の住民にとってより使いやすい場所に移転整備し、有効活用することを提案するものです。

これにより、金谷区内に地域の交流が図れる場所、子どもたちが活動できる場所ができ、地域の交流促進や活性化につながることを期待されます。また、地域で採れた野菜を販売する施設を併設するなど、施設の有効活用を図ることで、金谷区を中心とする施設に発展することが期待されます。

地域活動支援事業募集要項及び審査・採択のルールについて 意見一覧

(1) 募集要項について

No.	意見内容	提案者
1	若い感覚で生まれる事業等を良く見極め、その芽を伸ばせるよう支援したい。(優先して採択する事業)	牛木委員
2	古く忘れ去られようとする歴史を冊子等にして後世に残すことが必要。(優先して採択する事業)	牛木委員

(2) 審査・採択のルール、採点シートについて

No.	意見内容	提案者
1	昨年度の意見で、今年度検討することとしたもの	
	①基本審査をなくしたうえで、配点を公益性10点、必要性15点、実現性・参加性10点、発展性5点(50点満点)とし、委員の半数以上が30点未満の事業は不採択について協議する。	—
	②共通審査基準の「審査の視点」を、①～⑤の「審査項目」ごとに5つにする。(採点する際は、「審査の視点」ごとに見て、該当するものは1点とし、5項目全てに該当すれば5点とする)	—

地域活動支援事業審査・採択の基本的なルールについて（案）

修正点①：審査・採点は委員の協議により 1 日で行うことも可能にするもの。

審査・採択の基本的なルール

現行	改正案
<p>1. (3) A. ㉔</p> <p>審査・採点は 2 日間に分けて行う。1 日目に基本審査と優先採択審査を行い、その結果を受けて 2 日目に共通審査を行う。(1 日目と 2 日目は、連続する日である必要はない)</p>	<p>1. (3) A. ㉔</p> <p>審査・採点は 2 日間に分けて行う。1 日目に基本審査と優先採択審査を行い、その結果を受けて 2 日目に共通審査を行う。(1 日目と 2 日目は、連続する日である必要はない) <u>なお委員の協議により、審査・採択を 2 日間に分けて、同日に行うことができる。</u></p>

修正点②：現在は基本審査で、「適合する」の数と「適合しない」の数が同数の場合の規定がない。「適合しない」が過半数の場合のみ不採択とすることとし、次のとおり関連する箇所を文言整理をするもの。

審査・採択の基本的なルール

現行	改正案
<p>1. (3) A. ㉒</p> <p>当日は、事業ごとに委員間で討議を行い、その結果をふまえ、初めに基本審査を行い、審査・採点者の過半数が「<u>適合する</u>」とした場合、次の優先採択審査を行う。</p>	<p>1. (3) A. ㉒</p> <p>当日は、事業ごとに委員間で討議を行い、その結果をふまえ、初めに基本審査を行い、審査・採点者の過半数が「<u>適合しない</u>」とした事業を除き、次の優先採択審査を行う。</p>
<p>1. (3) A. ㉔</p> <p>基本審査で、審査・採点者の“過半数”が「<u>適合しない</u>」とした事業は不採択とし、以降の審査・採点を行わない。<u>審査・採点者の過半数が「適合する」とした事業は、続けて優先採択審査を行う。</u></p>	<p>1. (3) A. ㉔</p> <p>基本審査で、審査・採点者の“過半数”が「<u>適合しない</u>」とした事業は不採択とし、以降の審査・採点を行わない。<u>(削除)</u></p>
<p><補足 1 >1-(3) A 基本審査 <u>「適合する」が過半数</u></p>	<p><補足 1 >1-(3) A 基本審査 <u>(削除)</u></p>

金谷区の地域課題について これまでの意見一覧

資料No.4

区分	委員改選前	
年月日	平成 27 年 12 月 22 日	平成 28 年 1 月 27 日
会議名等	第 8 回金谷区地域協議会（グループ討議）	第 9 回金谷区地域協議会（全体での意見交換）
意見	<p>Aグループ（テーマ：観光）</p> <p>① 金谷区の魅力は自然が豊かであること。</p> <p>② 自然をそのまま活かしてPRしていけばよいのではないか。</p> <p>③ インターネットも一つのPR方法だが、まず地元の人が利用しよいところを見つけ外に発信することも必要。</p> <p>④ 年1回でも何かイベントを開催して人を集めることが必要。</p> <p>⑤ 自然を見にきてもらうだけでなく、収入につなげる方法を考えなければいけない。</p> <p>⑥ 観光資源となる、南葉山、金谷山、正善寺の3つをどうやってルートとして結んでいくか。</p> <p>⑦ イベントをしても車がないと行けないという問題がある。レンタカーなど活用できないか。</p> <p>⑧ 南葉山、金谷山、正善寺工房などが上越妙高駅でPRされていない。PRの中に盛り込んでもらいたい。</p> <p>⑨ 新幹線開業により、遠方からの観光客も来ていることを考慮し、PRに力を入れたほうがよい。</p> <p>⑩ 継続するためにはボランティア、サポーターの数を増やしていかなくてはいけない。</p> <p>Bグループ（テーマ：南葉高原の活用）</p> <p>⑪ 春の筍や秋のキノコの時期に合わせてもっと客を集めてはどうか。</p> <p>⑫ 地元の人すらあまり足を運ばない状況がある。PR方法を見直す必要がある。</p> <p>⑬ 子どもを集める方法を考えれば、そこには親もついてくる。</p> <p>⑭ 南葉まつりやレルヒ祭があるが、観光のPR不足をどう補充、補完するか。</p> <p>⑮ 中ノ俣に直通で行ける道路ができれば、もっとあの辺が開けるのではないか。</p> <p>⑯ 健康のために歩いて金谷地区の観光をめぐる方もいる。ハイキングコースを整備し、PRしていくのもよいのではないか。</p> <p>⑰ 中ノ俣ではNPO法人等で様々な行事をしていて、集落独自の行事であっても、方々から人が集まる。このようなものをこの近郊でもできないか。</p> <p>⑱ 金谷区を活気づけるためには、このような議論をもっとしたほうがよい。</p> <p>⑲ 飯山ではあれだけの人を呼び込んで活気づいている。視察研修から見習い、今後の課題として検討していけばよいのではないか。</p> <p>⑳ 南葉高原の車を活用した買い物支援（町内を回り買い物へ行く）が活性化につながるのではないか。この課題についても検討していけばよいのではないか。</p>	<p>（長期ビジョン、意見交換）</p> <p>① 金谷区をどうするのかという長期ビジョンにより、メンバーが変わっても一つのものを続けて行けるようにすることが必要。</p> <p>② 金谷区の中で、振興協議会や町内会、北部中部南部など分かれている。また他の区の協議会もある。いろいろな団体との意見交換を持っていくべきではないか。</p> <p>（地元が大切）</p> <p>③ 金谷区の人が金谷区を分かっていない。一過性のイベントで人を呼ぶのも良いが、ここ金谷区に住んでいる人に先ずアピールすることが大事。</p> <p>④ 子どもたちを金谷区のいろいろなところに連れて行き、小さい頃から金谷区を教えてあげることができれば、地域に住む者にとって励みになる。</p> <p>⑤ 地域の色々などところに行き、行事に参加して、覚えたり学んだりする機会を作ること、みんなで何かができるチャンスになる。</p> <p>⑥ 金谷区を歩いて回るルートを、心のふるさと道などを活用してつないでいき、子どもたちに教えることで、子どもたちという地元のコミュニティの底辺を広げていける。</p> <p>⑦ レルヒ像や金谷山、正善寺、南葉山などをつなぐハイキングコースを整備すれば、外部の人たちの参画や支援につながるのではないか。</p> <p>⑧ 金谷区を支援するボランティアやサポーターの数を増やしていくことで、大きな観光につながるのではないか。</p> <p>（外部の視点、外部へのPR）</p> <p>⑨ 地域の良さは、外部の人から見てもらって「金谷区はこうだ」という意見を求めながら探していくのがよい。</p> <p>⑩ 地域にいると日常になってしまい、良いものに気付かない。外部の方の目線や意見が大切。</p> <p>⑪ 市の企画に参加したことで、地域の良さを知ることができた。地元以外の方の企画であれば意外なアイデアも出てくるだろう。</p> <p>⑫ 金谷区を外部へPRをして、外部の方から来てもらい、リフレッシュして帰ってもらうのも一つの案。</p> <p>⑬ 自分が良いと思うところには、家族や親せき、知人を連れて行き、見せて、食事をとるなどし、気に入ってもらうことで、チラシやポスターよりずっと自然体のPRができる。</p> <p>⑭ PRが上手ではないという意見が多い。金谷区をPRする際は「面白そうだ」「行こうか」と思わせる表現など工夫が必要。</p>

金谷区の地域課題について これまでの意見一覧

区分	委員改選前	
年月日	平成 28 年 2 月 24 日	平成 28 年 3 月 16 日
会議名等	第 10 回金谷区地域協議会（全体での意見交換）	第 11 回金谷区地域協議会（全体での意見交換）
意見	<p>（金谷区の課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 中ノ俣への道路状況を根本から解決しないと若い人に住んでくれと言えない。 ② 外部の視点も大切。I ターンの方と共に新しいアイデアを出したり、若い後継者を育てる取組が必要。 ③ 意見を出し合っても立ち上がる人がいないのが現状。中心になって活動する人を見つけないと前に進まない。 ④ 和田区地域協議会との連携した取組や、各団体の長や他地区との話し合いの場を持つことが必要。 ⑤ 我々の 4 年の任期で仕上げるのではなく、長期ビジョンをもって、ずっと引き継ぎながら一つの方向に向かって行く必要がある。 ⑥ 金谷地区にはいろいろな組織があるが、一体化が必要。 ⑦ 課題があるときは、まず地域協議会委員が何ができるかを考え、動いてみるのが大切。 ⑧ 人口減少や山間地農業などをどうするかについても協議すべき。 <p>（観光関係）</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑨ 金谷区は自然豊かでいろいろな観光資源があるが、十分に生かされていない。 ⑩ ダムに発電所、浄水場もある。川も多く、特に儀明川は子どもが水を学ぶには非常によい場所。 ⑪ 自然が見直されており、特に川や水関係は癒しとなる。人間が生きていくサイクルを子ども達や大人に知ってもらうのにも勉強になる。 ⑫ 中ノ俣牧場が荒れている。よい資源だったがこのまま消えていくのはもったいない。 ⑬ 新幹線開業を活かした取組や、駅周辺のビジョンについての意見交換も必要。 ⑭ 金谷区の名所や歴史も、案内人がつくとよく理解できるようになる。 ⑮ 金谷区が観光で生きるなら、隠れた観光地として地域に根ざした「寄ってみたい場所」としての出番があるのではないか。 ⑯ 金谷区にはお土産を買う場所がない。特産物、お土産を用意しないと観光地にはならない。 ⑰ 作成した観光マップをどのように活用していくかについても考える必要がある。 	<p>（観光関係）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 金谷の観光マップや金谷山の案内板を作成したり、会津墓地の宣伝をして、まちの活性化につなげようとしたが、なかなか難しい。小学生の学習教材としての活用や、地域住民の認知度向上はできたが、外への発信は難しい。 ② 新幹線開業 1 周年などのイベントでは、金谷区は通過地点になっている。金谷区で足を止めてもらうようにしなければならない。 ③ 売上につながらないと、観光とはいえない。人を呼ぶことはできても、本当の観光地にはなっていない。 ④ 金谷区を PR して観光客が来ても、地元にある程度の還元がないと続かない。 ⑤ 土産物を作るべき。地域でできなければ、市内の菓子メーカーと連携する。 ⑥ 上越妙高駅に自転車のレンタル店を設置し、そこに金谷区の観光マップを置いて案内すれば、少しでも人が動き、使ってくれるかも。情報発信をすれば、応えてくれる人もいる。 <p>（その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑦ 地域の人への投げかけも必要。委員が言われたことを、もっと人に投げかけることで、行動が起きるかもしれない。

金谷区の地域課題について これまでの意見一覧

区分	委員改選後	
年月日	平成 28 年 7 月 27 日	平成 28 年 8 月 24 日
会議名等	第 4 回金谷区地域協議会（全体での意見交換）	第 5 回金谷区地域協議会（グループ討議）
意見	<p>（前期の反省）</p> <p>① 出張協議会は効果があった。意見交換会では、身近な意見が出て良かった。</p> <p>② 意見交換は「～したらいい」で終わっている。具体的に何をするかという意見が出ていない。</p> <p>③ 月に 1 回全体で集まるやり方では、問題解決にはつながらないのではないか。少数の委員で集まって検討する、協議会の回数を増やすなど、やり方を考えるべきである。</p> <p>④ アドバイスしてくれるような人の話を聞きたい。</p> <p>（観光関係）</p> <p>⑤ 身近なところから取り組むべき。上越高田 I C 近くのパーク＆ライドの草刈りを市の委託を受けて向橋町内会でやっている。そういった活動に目を当てていくことも必要である。</p> <p>⑥ 会津墓地を高田の人が守ってくれたということで、会津から 30～50 人の人が来る予定だが、地域で受け入れる体制が取れない。</p> <p>⑦ 金谷山を散歩する人、会津墓地を見に来る人は増えているが、観光は金にならなければ意味がない。そのためには、土産を買ってもらい、利益をあげなければならない。そのための産物を、誰かが作り売らなければならない。</p> <p>⑧ 観光というのは、場所を先に作らないといけない。その後に人集めをするべきである。南葉山キャンプ場では、秋に 1500 人で利用したいとの話があったが、駐車場の確保が難しく、受け入れ態勢を整えるのに苦慮している。</p> <p>⑨ 「観光課に言えばいい」「PR が足りない」「入り口に看板を立てればいい」で終わっている。現実の話をしないとイケない。</p> <p>⑩ 上越は土産・食べ物が何もない。口で観光と言ってもなかなかできない。</p> <p>⑪ 柿崎ダムには県外から大勢人が訪れるが、買い物をするところなど、立ち寄りよう勧められる場所が何もない。</p>	<p>（金谷区に関する課題、意見）</p> <p>① 土産物売る施設がないため、ヨーデル金谷などの施設を活用して販売するべきである。ただし、地域で土産物を開発するのは難しい。</p> <p>② ヨーデル金谷の敷地内を活用し、地元の農産物を販売する朝市などを開いてはどうか。</p> <p>③ 滝寺にある「金谷北地区農村元気会」など、地域で活動している団体と話し合いの場を設けるべきである。</p> <p>④ バスの乗客が少ない（特に青田線）。単純に本数を減らすことは避け、デマンドバスや小型化により改善を図るべきである。</p> <p>⑤ ウォーキングしている人が多くなっている。街灯の整備や草取り等のクリーン活動、PR を積極的に行うべきである。まず地域で活動する。結果、市が動くことにつながる。</p> <p>⑥ 「技」を持っている人材を発掘、活用して、地域を盛り上げるべきである。</p> <p>⑦ 出張協議会で若者も入れて意見交換するなど、若者の意見を聞くべきである。</p> <p>⑧ 南葉高原や正善寺ダムでは携帯電話がつながりにくいため、電波が入るよう要望する。</p> <p>⑨ 南葉林道や正善寺ダム周辺で不法投棄が多いため、金網を張るなどの対策を市に要望する。</p> <p>⑩ 金谷区内に公民館がなく利便性に欠けるため、新設や既存建物の利用などにより、区内に公民館を移転すべきである。</p> <p>⑪ 山麓線開通により雨水の排水が周辺地域で悪化しているため、改善が必要である。</p> <p>（他区に関する課題、意見）</p> <p>⑫ 上越妙高駅西口には素晴らしい山並みの景観があることから、それを活かした取組をするべきである。（例：西口昇降施設の窓際に飲食できるスペースを設置する）</p> <p>⑬ 上越妙高駅周辺の都市開発を積極的に行うよう市に要望するべきである。（例：山麓線の全線 4 車線化、駅周辺道路の 4 車線化、駅舎のスペースの見直し）</p> <p>（市全体に関する課題、意見）</p> <p>⑭ 県外からの観光客から「新潟市には何もないが、上越には古い史跡が多くある」という声がある。上越の観光についてもっと PR するべきである。</p> <p>⑮ 県外から I ターンや U ターンする人が多くなるよう、企業誘致を積極的に行うべきである。</p> <p>⑯ 人口対策として、自衛隊の増員を要望してはどうか。賛同する他の団体と連携して要望書を提出するのがよい。</p>

金谷区の地域課題について これまでの意見一覧

区分	委員改選後		
年月日	平成 28 年 9 月 28 日	平成 28 年 10 月 26 日	平成 28 年 11 月 16 日
会議名等	第 6 回金谷区地域協議会（全体での意見交換）	地域住民との意見交換会 （中ノ俣出張地域協議会閉会后）	地域住民との意見交換会 （上正善寺出張地域協議会閉会后）
意見	<p>（地域協議会の取組方針に関する意見）</p> <p>① 課題決めは時間をかけて行うべきである。4年間の任期の中で成果を出すと考えるのがよい。</p> <p>② 地域住民の意見を聞くべきである。（若者、働いている人、母親、活動団体、町内会、農家など）</p> <p>③ 課題だと考えていることについて、自分の目で現地を確認するべきである。</p> <p>④ 月1回の全体会議だけでは前に進まない。</p> <p>⑤ 挙げた課題について、指名された委員が調べ、協議会で報告する方法も良い。</p> <p>（金谷区に関する課題、意見）</p> <p>⑥ ヨーデル金谷の敷地を活用し、「金谷北地区農村元気会」など、地域で活動している団体と話し合いながら、農産物や土産物の販売、朝市などを行うのがよい。（レストランの活用を含む）</p> <p>⑦ 「技」を持っている人材を発掘、活用して、地域を盛り上げるべきである。</p> <p>⑧ 南葉高原や正善寺ダムでは携帯電話がつながりにくいため、電波が入るよう要望する。</p> <p>⑨ 南葉林道や正善寺ダム周辺で不法投棄が多いため、金網を張るなどの対策を市に要望する。</p> <p>⑩ 金谷区内に公民館がなく利便性に欠けるため、新設や既存建物の利用などにより、区内に公民館を移転すべきである。</p> <p>⑪ 山麓線開通により雨水の排水が周辺地域で悪化しているため、改善が必要である。</p>	<p>① 中ノ俣牧場跡地は、景観も良い場所であるため、活用したいと考えている。</p> <p>② イノシシなどの鳥獣被害が非常に大きな問題になっている。</p>	<p>※地域の課題に関する意見なし</p>

金谷区の地域課題について これまでの意見一覧

区分	委員改選後	
年月日	—	平成 29 年 1 月 11 日
会議名等	金谷のまちづくりを話し合う会 事前アンケート（地域の課題だと思うこと）	金谷のまちづくりを話し合う会（黒田小学校区）
意見	<p>（安全・安心）</p> <p>① 子どもの通学路で防犯灯が少なく、下校時の安全面で不安な箇所があるので心配である。〔飯小〕</p> <p>② 山麓線に防犯灯を増やしてほしい。〔高田西小〕</p> <p>③ ウェストニュータウン近くに大型スーパーマーケットや書店が来春完成し、交流人口や交通量が増加すると思われるため、より一層子どもたちの安全確保への取組を強化してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生の登下校時の見守りボランティアさんを長く続けてほしい。（とても感謝しています） ・道路の防犯灯の灯切れがないように、明るく整備してほしい。（夜間の安全） ・地域で子どもを育て守るように、地域で顔を合わせる機会や気質づくりを高める。 <p>〔高田西小〕</p> <p>④ 山麓線の交通量が多く、車両の速度が非常に速い。速度の規制をするとともに、効果的な信号（タイミング、青信号の長さなど）を考えて、少しでも交通事故に児童が巻き込まれるリスクを減らしてほしい。24 時まで営業するスーパーマーケットができれば、交通量が増加するのではと心配である。〔高田西小〕</p> <p>⑤ 高齢者がスーパーマーケットに向かって山麓線の車道を横断しているのを見かける。横断歩道が遠いためであり、危険で心配である。〔飯小〕</p> <p>⑥ 防犯灯と言われている青色の街灯は効果がないと聞いている。また、設置した通りは気味が悪くなるので、設置しないでほしい。〔黒田小〕</p> <p>⑦ 無電柱化を推進してほしい。（道路が広がって安全便利、景観も良くなる。）〔黒田小〕</p> <p>（教育・イベント）</p> <p>⑧ 商業施設が次々とできて便利だが、子どもにとって安心・安全な遊び場が少ない。気軽に遊べる、集まれる公園や広場があるとよいと思う。地域に子どもの声が響く場所があると、地域と子ども、地域と家庭のつながりもより生まれやすいのではないかと思うし、メディアに頼りがちな子どもの遊びも広がると思う。〔高田西小〕</p> <p>⑨ 外で球技ができる場所が少なく、子どもたちが外で体を動かす所を増やしてほしい。〔高田西小〕</p> <p>⑩ 子ども達が体を使って遊べる施設が無い。（子どもの家では高学年以上は限界がある。）〔高田西小〕</p> <p>⑪ 子どもたちが安全に活動できる場所を増やしてほしい。〔黒田小〕</p> <p>⑫ 子どもたちが参加できるようなイベントを増やしてほしい。〔黒田小〕</p> <p>⑬ 子どもとお年寄がいっしょに楽しめるイベントを増やしてほしい。〔黒田小〕</p> <p>⑭ 様々な集まりに出席する機会があるにもかかわらず、小学生の親世代はあまり参加していないし、参加しても活発な意見が出にくい。子どもを通しての親同士のつながりはあるが、それ以外のつながりが少ない。〔高田西小〕</p> <p>（公共交通）</p> <p>⑮ 山麓線のバス路線がもう少し便利になるとありがたい。高齢者の方や高校生・学生なども利用しやすい路線が増えるとよい。〔飯小〕</p>	<p>（交流）</p> <p>① 地域の交流…昔はスキーで交流があり、小学生のうちから学校同士の交流があった。おかげで中学校に入って初めて顔を合わせるということがなかった。地域の交流イベントがあるとよい。</p> <p>② 黒田小学校の 5 年生が、リズムダンスで全国 2 位になった。それを今後、地域交流に生かしてほしい。</p> <p>（子どもの遊び場）</p> <p>③ 遊び場の確保…広い遊び場少ない、子どもが外で遊ぶ場所がない。</p> <p>④ 放課後に外で遊ぶことがない。集まる場所もない。中田原こどもの家の他にも、町内会館などを提供してもらうなどして、子どもが集まって遊べる場所がほしい。</p> <p>⑤ 夏休みには、町内会館など集まれるところが欲しい。</p> <p>⑥ 活動できる場所がない。広い場所、施設、スペースを作してほしい。</p> <p>（安全・安心（通学路・交通安全））</p> <p>⑦ 子どもの安心安全…通学路の安全や交通事故防止について。</p> <p>⑧ 通学時に危ないところに、防犯カメラがあるとよいので設置が検討できないか。特に向橋などには、人目が少ないところがある。</p> <p>⑨ 雪の時に、通学時間帯になっても除雪が済んでいない時がある。確実な除雪を。</p> <p>（その他）</p> <p>⑩ 小学校では夏場にエアコンがなくてつらい。</p>

金谷区の地域課題について これまでの意見一覧

区分	委員改選後	
年月日	平成 29 年 1 月 18 日	平成 29 年 3 月 22 日
会議名等	金谷のまちづくりを話し合う気（飯小学校区・高田西小学校区）	地域住民との意見交換会（上中田出張地域協議会閉会后）
意見	<p>（交流）</p> <p>① 金谷区内 3 校の小学校の交流会があるとよい。金谷区が子どもたちで盛り上がり、そこに父兄が参加することで、子どもと親のつながりが生まれる。</p> <p>② 親子で参加できるイベントがもっとあるとよい。</p> <p>③ P T A として子どもと地域と関わって行けるような活動を行いたい。地域の活動の中で子どもを育ててもらい、その子どもが地域に恩返しできるようになってほしい。</p> <p>④ 金谷区全体で交流会を開くなど、学校区を越えて子どもを見守るシステムが必要である。</p> <p>（子どもの遊び場）</p> <p>⑤ ボール遊びなど、子どもがのびのびと遊べる場所がほしい。例えば、子どもの家が土日祝日も開いているとよい。</p> <p>（安全・安心（通学路・交通安全））</p> <p>⑥ 雪が降ると歩道が狭くなるため、歩道をもっと広くしてほしい。</p> <p>⑦ 自転車や車の事故防止のため、道路標識や停止線を引いてほしい。</p> <p>⑧ 山麓線は交通量が多く、車もスピードを出しているため、交通安全対策が必要である。</p> <p>（安全・安心（防犯））</p> <p>⑨ 子どもの安全のため、親が安全や防犯について子どもに言い聞かせることが必要である。</p> <p>⑩ 親が外を散歩で回れば、防犯の意識が高まる。</p> <p>⑪ 防犯灯を増やしたところ、「明るすぎて眠れない」という苦情が出た。</p> <p>⑫ 危険だと思われる場所に防犯灯を設置してほしい。</p> <p>⑬ 暗いところがあるため、子どもたちの安全・安心のために防犯灯を増やしてほしい。</p> <p>⑭ 2 4 時まで営業するスーパーが新しくできることから、防犯対策など地域でできることを実施する必要がある。</p> <p>（その他）</p> <p>⑮ 路線バスが朝の通学と関係のない時間に走っている。</p>	<p>① 学校間や P T A の交流については、その団体に任せるべきである。</p> <p>② 後谷ダムは、サンコウチョウなどの野鳥が多く来ており、環境的には非常によいところである。</p> <p>③ 黒田小学校には、各種団体や P T A などのコミュニティ活動のためのスペースがない。金谷区の他の学校にはある。</p> <p>④ 放課後児童クラブの場所が狭いため、子どもたちが十分に遊ぶことができない。</p> <p>⑤ 上越妙高駅、上越高田 I C、山麓線が整備されたが、それらをうまく P R するリーダーがいなかったため、人材育成が必要である。</p>

金谷区の地域課題について これまでの意見一覧

区分	委員改選後	
年月日	平成 29 年 3 月 22 日（平成 28 年度第 12 回）、平成 29 年 4 月 26 日（平成 29 年度第 1 回）	
会議名等	平成 28 年度第 12 回金谷区地域協議会および平成 29 年度第 1 回金谷区地域協議会（全体での意見交換）	
意見	<p>1. 観光資源の活用 （具体的な取組）</p> <p>① 後谷ダム、儀明川ダム、正善寺ダムの活用（ダムカードの利用、ダムの見学、案内マップの設置など）</p> <p>② 土産物の販売</p> <p>③ 土産物販売などの拠点整備（公民館の移転）</p> <p>④ 外国人観光客向けの対策（看板の表記の修正など）</p> <p>（期待される効果）</p> <p>⑤ ダムは広い年代の方や女性からも人気であり、幅広い来客が期待できる。</p> <p>⑥ 特色のある観光土産や物産があれば、また来てもらえる。</p> <p>（課題）</p> <p>⑦ 実際に取組を行う組織をどうするか。</p> <p>⑧ 販売できる土産物がない。</p> <p>⑨ 地産の農産物は、土産物として売るほどの量は作られていない。（生産拡大できない）</p> <p>⑩ PR や買い物をする場所がない。</p> <p>2. 地域間の交流 （具体的な取組）</p> <p>① 区内 3 校区の交流会（水泳大会、スキー大会、野球大会など、子どもだけでなく大人の交流も含む）</p> <p>② 公民館の移転</p> <p>（期待される効果）</p> <p>③ 子どもたちの体力づくりにつながる。</p> <p>（課題）</p> <p>④ リーダーとなり主導する人や組織がない。</p> <p>⑤ 行事への参加者が少ない。</p>	<p>3. 交通安全 （具体的な取組）</p> <p>① 山麓線歩道の冬期除雪</p> <p>（期待される効果）</p> <p>② 歩行者だけでなく、道を出入りする車の安全も確保できる。</p> <p>（課題）</p> <p>③ 交通安全に関係する組織と地域協議会との情報共有や、組織同士の情報共有がされていない。</p> <p>4. 防犯 （具体的な取組）</p> <p>① 中田原交差点に定点カメラを設置</p> <p>② 不法投棄が多い南葉林道や儀明川ダムに防犯カメラを設置</p> <p>（期待される効果）</p> <p>④ 通りで悪いことをしている人などが必ず映るため、何かあった場合にはすぐに対応できる。</p> <p>⑤ 不法投棄の監視と予防になる。</p> <p>（課題）</p> <p>⑥ 南葉林道には電線がないため、設置方法を検討する必要がある。</p> <p>5. 子どもの遊び場 （具体的な取組）</p> <p>① 公民館の移転</p>

金谷区の地域課題について これまでの意見一覧

区分	委員改選後
年月日	平成29年8月30日
会議名等	第6回地域協議会（自主的審議事項「金谷地区公民館について」）
意見	<p>（現状）</p> <p>① 駐車場が狭い。過去に駐車場の舗装範囲を広げたが、現在の場所で駐車場をさらに広げるのは不可能。</p> <p>② 中が狭い（利用可能なスペースが少ない）。</p> <p>③ 金谷区振興協議会から市に要望書を提出。</p> <p>④ 築年数が相当経っており、耐震性がない。</p> <p>⑤ 地域活動支援事業を活用して、ふすまの張り替えとエアコンの設置を行った。</p> <p>⑥ 現在の高田地区公民館の閉鎖により、利用者の一部が金谷地区公民館に移る可能性がある。</p> <p>⑦ 約50団体が貸館として利用しており、月曜から土曜まではほぼ毎日利用予約が入っている。</p> <p>⑧ 公民館を利用する方は、本町や寺町など近隣の高田区の住民や、市内で活動する団体の方が多く、金谷区の住民・団体の利用は比較的少ない。</p> <p>⑨ 2階でダンスなどの運動をしていると下に響き、会議などを行っている際には苦になる。</p> <p>（課題）</p> <p>⑩ 利便性が悪いため、子どもを対象にした公民館事業に金谷区からの参加者がいない。</p> <p>⑪ 現在の高田地区公民館の閉鎖により、金谷地区公民館の利用者が増え、予約の空きが埋まり、利用しづらくなることが考えられる。</p> <p>⑫ 現在の建物も近々取り壊さなくてはならないが、同じものを建てるにしても、きちんとしたところで広々としたよいものを。</p> <p>⑬ 小学生の保護者から、「子どもたちが活動できる場所がない。広い場所、施設、スペースを作ってほしい」との意見があった。</p> <p>⑭ 地元で採れる野菜など、地域の資源が観光に生かされていない。</p> <p>（解決策）</p> <p>⑮ 金谷区の住民にとって使いやすい場所に、金谷地区公民館を移転する。（山麓線沿線や、上越高田IC近くのパークアンドライド跡地など）</p> <p>⑯ 公民館に売店や野菜売り場などを併設する。</p> <p>（効果）</p> <p>⑰ 野菜売り場等併設することで、金谷区を中心とする施設になる。</p> <p>⑱ 地域の活性化につながる。</p> <p>⑲ 公民館事業の参加者が増える。</p> <p>（その他）</p> <p>⑳ 福祉交流プラザで開催している「すこやかサロン」は、参加人数が少なかったが、町内会館で出張サロンを行ったところ参加者が増えた。</p> <p>㉑ 近年金谷地区公民館では、公民館主事が1年など短い期間で交代しているが、それでは公民館活動が成り立たない。</p> <p>㉒ 場所を貸すことは、公民館活動の本来の趣旨には合わない。</p>

金谷区の地域課題について これまでの意見一覧

区分	委員改選後	
年月日	平成 29 年 8 月 30 日	平成 29 年 9 月 26 日
会議名等	第 6 回地域協議会 (自主的審議に係る提案「地域の安全安心確保について」)	第 7 回地域協議会 (自主的審議に係る提案「地域の安全安心確保について」)
意見	<p>(安全安心全般)</p> <p>① 安心安全の何をターゲットにするか。 ② 各小学校の下校時に迎えに出ている。 ③ 防犯協会で「防犯パトロール」という車に張るステッカーを配布し車に付けてもらっている。防犯、安全安心のもとになる。</p> <p>(不法投棄(ごみ))</p> <p>④ 金谷地区振興協議会で、南葉高原キャンプ場がオープンする前にゴミ拾いをした。 ⑤ 上正善寺では、アジサイまつりに合わせて周辺のゴミ拾いをしている。 ⑥ その場所にあった防止対策が必要。 ⑦ きれいなどころにはごみを捨てない。 ⑧ きれいであることが観光の目玉になる。南葉高原キャンプ場の道路が綺麗であることが、キャンプ場の観光事業に貢献している。 ⑨ 地域協議会と金谷地区振興協議会が協力して取り組んでいくべき。 ⑩ 向橋町内のクリーン活動でゴミ拾いをした際、がいしが大量に捨てられていたため県の方で全部処理してもらった。その際、カメラが必要だという話が出た。 ⑪ 南葉高原キャンプ場周辺に防犯カメラか 2 m 程度の金網を設置するよう市の環境保全課に話をしたが、防犯カメラは電線がないため、金網は積雪により壊れる恐れがあり予算もないため設置できないと断られた。</p> <p>(防犯灯)</p> <p>⑫ LED の交換事業で、各町内にパトロールをお願いしている。夜間明るくして防犯パトロールをしている姿を見れば、犯罪にはつながらないだろう。 ⑬ 暗いため防犯灯を付けてほしいという意見があり、防犯灯を付けたところ、今度は明るすぎるといった意見が出た。いろいろな意見が出てくる中で、それをどうまとめるかが問題。</p>	<p>(安全安心全般)</p> <p>① 安全安心は永遠のテーマ。窓口は広いが、審議する必要はある。 ② 安全安心はまちづくりとも関係してくる。 ③ 安全安心の範囲が非常に広い。ある程度絞った方がよい。 ④ 項目を挙げ、取り上げるかどうか絞り、話し合いをしていくのがよい。 ⑤ 各委員いろいろな考えを持ち、いろいろな住民の声を聞いているため、それをもとに話し合い、地域協議会としてひとつひとつ問題を挙げていくのがよい。 ⑥ 地域の安全安心は範囲が広がっている。北朝鮮からミサイルが飛んできた場合、頑丈な建物の中に入ってくださいと言われても、どこへ入ったらよいか全く分からない。そんなことを我々が考えるのは無理である。</p> <p>(防犯カメラ)</p> <p>⑦ 誰が管理するか、どこに付けるか、何のために付けるかをはっきりしないといけない。プライバシーの問題もある。 ⑧ 犯罪が起きた後のためなのか、犯罪が起きないためなのか、目的をはっきりさせた方がよい。 ⑨ 有事の際に簡単に閲覧できるのか、警察等と連携して問題解決につながるかなど、多岐に渡って検討する必要がある。 ⑩ 中ノ俣では自分たちで防犯カメラを 4 か所設置し管理している。 ⑪ 電線がないところには防犯カメラは付けられない。 ⑫ 昭和町 1 丁目では山麓線の入り口くらいにあればよいが、無理をして付ける必要はない。 ⑬ 防犯カメラを付けることは、住民自身が求めていることではない。 ⑭ J C V のカメラの台数はだんだん増えている。 ⑮ 犯罪があった場合は必ずコンビニや駅などを通るため、ある程度犯罪捜査につながる。 ⑯ 電線、電柱がないところは設置が難しいが、簡易型などが考えられる。</p> <p>(防災)</p> <p>⑰ 避難訓練などもいざという時の安全安心につながる。訓練や啓蒙活動を外部から人を招いて行うことも考えられる。安全安心の意識を育てる方に向けてもよい。 ⑱ 市の担当課で防災備品の管理や防災訓練の啓蒙等に年々力を入れている。</p> <p>(防犯灯)</p> <p>⑲ LED への交換が残りわずかになってきたが、新しい防犯灯の設置が必要になってくる。 ⑳ 各 P T A との話し合いで道路が暗いという話が出てきた。山麓線は県道なので、県が街灯を付けることができるのか調査し、結果を P T A に早く伝える必要がある。 ㉑ 県道に付いている防犯灯は市が設置している。</p>